

週休2日制
モデル工事

ワーク・ライフ・バランスで充実した生活を ～週休2日の確保で働き方を改革！～



工期：令和元年 7月9日～令和2年 3月2日

令和2年 1月10日現在
工事進捗率 **72.5%**
週休2日の確保継続中

～現場代理人からの声（入社4年目）～

現場管理の仕事を少しずつ理解できるようになり、内容も幅広く任せられるようになってきました。自然と向き合いながらする仕事なので、天候や災害に左右される部分はありますが、週休2日が確保されているため、公私ともにバランスのとれた生活が送れています。

確保に向けた現場での工夫1

～モデル工事看板の掲示～

従来の建設業へのイメージを払拭し、次世代の労働力が継続して確保できるよう、近隣住民に対して、工事看板により情報発信しています。

施工現場周辺と現場事務所に掲示しています。



本工事は 週休2日 を確保する モデル工事です

週休2日とは

月単位で、計画的に
4週間に8日休日を
確保する休暇制度です。

背景

建設業界は、担い手不足が懸念され、技術者、特に若年技術者の育成・確保を中心とした将来の担い手確保も問題の一つとなっております。

目的

このモデル工事は受注者が安心して完全週休2日を実現できるよう、発注者が支援する目的で行われています。

確保に向けた現場での工夫2

～店社一体の施工体制～

施工前段階において、問題となりそうな課題を抽出し、これの対応策を店社一体となって検討しています。早期に発注者とそれらの問題を解決し、円滑な施工の進捗により生産性の向上に努めています。

また、日々の工程調整においては、元請けからの一方的な指示だけではなく、双方の意思を確認しながら、クリティカルパスを共有できるよう、作業所一体となって手戻りのない効率的な施工ができるように改善を行っています。



店社との施工検討



日々の工程調整

～監理技術者からの声（入社20年以上）～

現場を運営していく中で、我々に求められている事は、事故はしない！ミスはしない！近隣に迷惑をかけない！成果を上げる！等々あり、少なからず日々重圧・責務を感じます。しかしながら週休2日確保できていることにより、これらが緩和され、活力を取り戻し、程良い緊張感のなかで仕事できています。週休2日が当たり前で育った若手世代、私の年代ですとギャップを感じることはありますが、この意識を改革していかなければ、魅力ある職場づくりは進まないと思います。

防災・減災、国土強靱化のための緊急対策に取り組んでいます。

R1 利根川麦倉河道掘削工事



発注者：利根川上流河川事務所

受注者：小川工業株式会社